

# 2021年度愛知県スプリント記録会（尾張・三河地区）

2021年9月5日(日) 日本ガイシアリーナ(50m)

感染対策のため競技順序時間を変更して実施

総合 順位	氏名	チーム名	学 年	学年 順位	タイム	PB	総合 順位	氏名	チーム名	学 年	学年 順位	タイム	PB
No.1 女子 50m 自由形 T決勝							No.5 男子 50m 自由形 T決勝						
13位	西脇 まな	1toSWIM	中3	4位	28.99	✂	14位	則竹 琉成	1toSWIM	高1	2位	25.65	
70位	玉置 侑衣	1toSWIM	小6	7位	31.07		34位	西脇 成輝	1toSWIM	高2	7位	27.20	
73位	丹所 潤瑠	1toSWIM	小4	1位	31.11		102位	則竹 凱成	1toSWIM	中1	12位	29.43	
139位	三好 緩菜	1toSWIM	小6	25位	32.91		141位	西脇 尚	1toSWIM	中1	30位	30.47	
231位	新田 紗良	1toSWIM	小5	45位	36.04		161位	石川 欧亮	1toSWIM	小6	23位	31.10	
301位	安東 莉結	1toSWIM	小3	17位	40.27		232位	山下 樟	1toSWIM	小3	1位	33.30	
							264位	山口 永遠	1toSWIM	小6	65位	34.15	
							305位	石川 稜真	1toSWIM	小3	9位	36.12	
							345位	山田 悠暉	1toSWIM	小3	18位	38.14	
No.2 女子 50m 背泳ぎ T決勝							No.6 男子 50m 背泳ぎ T決勝						
47位	玉置 侑衣	1toSWIM	小6	8位	37.61		98位	石川 欧亮	1toSWIM	小6	24位	38.11	
157位	新田 紗良	1toSWIM	小5	37位	46.72		170位	山下 樟	1toSWIM	小3	5位	43.76	
181位	安東 莉結	1toSWIM	小3	17位	53.40		184位	山田 悠暉	1toSWIM	小3	10位	45.06	
							214位	石川 稜真	1toSWIM	小3	19位	46.94	
No.3 女子 50m 平泳ぎ T決勝							No.7 男子 50m 平泳ぎ T決勝						
48位	三好 緩菜	1toSWIM	小6	12位	42.27		128位	山口 永遠	1toSWIM	小6	23位	44.05	
73位	丹所 潤瑠	1toSWIM	小4	4位	44.20		222位	石川 稜真	1toSWIM	小3	15位	55.27	✂
144位	新田 紗良	1toSWIM	小5	41位	51.03			山田 悠暉	1toSWIM	小3		失格	✂
176位	安東 莉結	1toSWIM	小3	14位	57.02								
No.4 女子 50m バタフライ T決勝							No.8 男子 50m バタフライ T決勝						
6位	西脇 まな	1toSWIM	中3	2位	30.82	✂	15位	西脇 成輝	1toSWIM	高2	4位	27.81	
59位	玉置 侑衣	1toSWIM	小6	6位	33.35		84位	西脇 尚	1toSWIM	中1	14位	32.13	
103位	丹所 潤瑠	1toSWIM	小4	3位	35.79		121位	石川 欧亮	1toSWIM	小6	18位	34.48	✂
							148位	山口 永遠	1toSWIM	小6	25位	36.34	
							197位	山下 樟	1toSWIM	小3	4位	39.54	

愛知県のメインプールである日本ガイシアリーナで開催された、2021年度愛知県スプリント記録会（尾張・三河地区）に1toSWIMスイミングスクールの選手コース15名が上記のように出場し好成績を残しました。

この大会は春から夏にかけて選手コースに進んだ、選手のためご達のデビュー戦として、多くのちびっ子達が出場する大会でもあります。1toSWIMからも3名の小学3年生が出場、ハラハラドキドキのデビュー戦を戦いました。

ウォーミングアップ、招集、高いスタート台、いずれも初めてのことばかりで、緊張の連続、初参加ならではの失敗もたくさん経験しました。背泳ぎのスターター音のあまりの大きさに一瞬固まり、出遅れたり、スタート前にシリコンキャップにツメをたて、はじめてしまったり、スタート直後にゴーグルが外れて、止まってしまったり、今はショックでもみんなが通る道、次のレースの糧と成るに違いありません。そんな中、初出場の山下樟選手の50m自由形は過度の緊張が功を奏したのか、学年トップの記録をたたき出す快泳でした。各大会上位常連の丹所潤瑠選手も学年1位、全国大会に手が届く好記録をマーク、夏の強化練習最多出席1位2位の2人がしっかりと成果を出しました。又、参加選手殆どがPBを更新する活躍で、秋から冬への大会に弾みを付けました。